

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.



YAMAGIYA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.

2-6

II. 22

PLEASE RETAIN  
ORIGINAL ORDER



力 + 多の文化は移民に依つて研み出さ  
 過る十年か十五年の中に、著しい文化の飛  
 躍が起つた。興味ある新らしい発展が、繪画、演劇、才  
 やう、音楽、バレット、絵画その他の芸術が  
 以前には見られなかつた。従つて華やかには栄えた。  
 この発展に移民が与へたものは、莫大に大か  
 一、数に過ぎぬ。廿五年間に移民は移民として



カ + タ に 来 た 人 の 子 を 一 種 し て み や う の  
 勿 論 彼 等 は 芸 術 の 各 方 面 に 貢 献 し た の 二 の  
 一 章 で は 紙 面 の 関 係 上 数 例 を 挙 げ る た け で あ  
 る が 今 後 が 吾 々 の 文 化 発 展 に 新 来 者 輩 が 貢  
 献 し て 行 く 事 を 願 望 する 事 実 を 物 語 る 事 だ け だ  
 演 劇  
 カ + タ の 芝 居 一 部 台 上 げ 才 や テ レ ビ 上  
 の 演 劇 家 だ は 多 くの 演 習 者 だ 演 習 者 や 監 督 だ  
 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ  
 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ 演 習 家 だ



10X20



へとめた。一九五六年オマニ氏はオマニ  
 オマニストラット大工にのせーくスじや一劇に  
 オマニ演じし三つの毛りエー幕劇にむ  
 三回出演し、劇評家から好評を受けた。○  
 一、演じる現任は一九七〇年に元々トリーオマニ  
 に、劇校を創設し、十一年に、演劇学校を教へる  
 のに、専念し、その二の学校は、西武百貨店  
 の演技監督室、最近、オマニ大工から来た、一、  
 じや、一口、オマニ大工に、その人は、オマニ大工  
 じ、一口、オマニ大工に、その人は、オマニ大工

10X20



彼の他の監督や劇作家の中にハインリッ  
 ヲのミコル、サドワ、ハ、一九五九年  
 口、ト、テ、レ、ド、ラ、マ、劇、作、の、監、督、に、任、命、せ、ら  
 れ、人、知、あ、る、の、能、れ、が、カ、十、ク、に、来、た、当、時、サ、ド、ワ  
 一、氏、は、一、二、一、ク、一、ホ、ロ、一、サ、レ、一、劇、団、に、入、り  
 、 陽、々、々、一、大、学、の、演、芸、科、を、教、へ、  
 仙、語、劇、を、は、ル、一、マ、ニ、中、か、ら、新、し、く、来、た、ニ、十  
 分、イ、ヤ、コ、マ、ス、コ、は、一、ニ、ニ、オ、レ、演、劇、界、に、力、を、  
 一、ト、一、ト、口、ヲ、井、一、を、授、け、た、  
 興、味、あ、る、演、劇、は、元、レ、ト、リ、オ、一、ル、市、に、依、る、人

10x20



10x20



の甲には仏教生れのじや、テラ一・カースト  
リヤ生れのルデ・ドービ・ボーマンと生れ  
ヒータ一・カスアツサ、デスマーク生れのハ  
ヰ・ペッポドンヤツロノイデガ、葉面生れ  
マクムヤツ、ミヤグシバの人是不トラト  
フスタードの沙公劇場の通客の管理長を一九五  
五年からやつてゐる人想力チヤニ・オベラン  
社の演劇部の新構中隊長をナホウとした人想  
ある。



10X20

オペラ、ア、エ、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、  
 カ、キ、ク、ケ、コ、オ、ペ、ラ、合、社、は、一、九、五、〇、年、か、ら  
 ト、ロ、ン、ト、ン、創、始、を、し、た、オ、ペ、ラ、祭、演、団、か、ら、成、長  
 し、た、か、の、を、〇、主、に、ア、ー、ン、ド、の、オ、ー、タ、マ、士、の  
 境、界、を、越、え、た、力、に、依、り、て、成、果、を、収、め、た、か、の、を、〇、  
 同、時、に、は、一、九、五、七、年、に、オ、ー、タ、マ、士、か、ら、カ、キ  
 妙、に、果、る、か、〇、今、は、ト、ロ、ン、ト、大、学、を、主、導、課、の、部  
 長、を、し、て、い、る、〇、  
 このオペラ、演、団、の、成、立、の、原、因、は、在、り、て、強、く  
 演、い、る、演、技、が、い、か、に、ト、ロ、ン、に、二、カ、ラ、ス、の、カ、キ



心 不 三 ト 、 ア 、 赤 、 不 ト 、 ハ 、 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

10X20



子があり、コイルドスクリューは  
 鬼から逃げた者がある。ト  
 トロとトは、コイルドスクリューは  
 スクリューがある。一九五〇年からオペラ  
 団の音楽指揮者であり、一九五八年の  
 一ハロウスケールオペラ団の指揮者  
 人にある。オペラ団の指揮者  
 カナダで、オペラ団の指揮者  
 スクリューあり、指揮者  
 名は、スクリュー、十七歳の若さで

10x20



揮棒を打ったくらの秀木でイタリヤや米國  
でオペラを指揮した、永の経験をもつ力十父  
に東たの氣あつた。その時、  
力十父のオペラ傑作の有名な歌々としてバス  
の退き、ルース、ソフィアのイタリヤ、コッ  
フリック、グンテ、ソフィア、アイダ、ルース  
ハーク等。退き、ルース、グンテ、ルース、  
ウィト、セー、キエ、ゴッ、バッキヤカ、の桃  
出した由の事、力十父に東をからるるで能  
数のりサイタをした。それと力十父オペラ

10X20



合	+	の	ス	タ	-	と	あ	い	バ	ン	-	ハ	ヒ	作	つ	た	タ	バ
ラ	ヤ	ロ	ロ	タ	ヤ	ラ	の	ス	タ	-	に	あ	つ	た	。			
ル	-	ブ	は	ラ	ヤ	タ	ヤ	テ	ル	ロ	ヨ	ル	の	数	段	で		
ル	ク	ス	タ	ブ	-	ス	ク	-	ロ	ル	タ	ラ	グ	ル	テ			
一	(	カ	+	タ	の	数	の	外	<del>群</del>	群	の	お	玉	里	堀			

10X20



来る 力加は 柳

力加の大さ



私の居るカタジは日本ではアメリ  
リカの一部分のやうにしか知  
れず居るが。其面積を利  
り易く二、三の諸国と比較  
すると、スウェーデンはオーストリア  
とフランスを合せた~~より~~、中  
アフリカとインドネシアと太平洋諸  
国は英領西インドとア  
ルゼドを合せたより大きい  
サスカチワン河のマニトバ河  
と~~より~~、スウェーデンとアルゼン  
チンを合せたより大きい  
オタワ河はドイツと



より大きい

従つた後、東地域は鉱  
業、林業、漁業、農業  
等の天産物が豊富で、それ  
を食する人の多き所であ  
る。その為、

一八六三年（明治）金山  
の発見、力大、太平洋  
鉄道の完成の爲め、  
に及即から、  
移民を招致したのが、  
移民を致した。この  
移民を致した。この



のちあつた、次のハミスターの島  
のシスターが氏が大坑を築  
見し<sup>見せし</sup>移民を<sup>移民</sup>れた、  
執達以等出、移民<sup>移民</sup>  
が金道は完成し、金山の  
掘りつくし、一般産業の力  
幼市場に達するやうに  
成つてから俄然<sup>東洋人</sup>排斥組合  
が主れ東洋人移民の一史は  
見排斥の一史と成つた  
訳である、



カチスは天然資源に属  
して其の開墾の人数

現在農業に土地の半分以上は  
東洋人移民を排斥して  
現在農業に土地の半分以上は  
東洋人移民を排斥して

ける一方、カチ政府は十

八の世紀初頭

から毎年百数十万ポ

ンドを英王及政府

州各王に移民の募集

運動を奨励して居る

のである、

好ましくなる移民と

排斥し拒否し、好ましく



移民の振数を歓迎し  
 所々のある、力加の在り  
 する移民は、力加の天然資  
 源を化し力加の富とあ  
 り力加が一般産業の消  
 費者と成り、其の蓄積と  
 した金を以て力加の繁栄の  
 資金に投じ、発展途上  
 の力加を運を荷負ふ所  
 の移民の分子と成る所の  
 移民を要求し居るので  
 ある、即ち機軸力加が  
 成る可能性のある移民



を待つて居るのがある。大陸横断鉄道が完成時代や金礦、鑛見、休當時より契約移民招致には資本家と労働組合の間には大論争がある。たのがある。

東洋人の最初の移民が「金」以外に何ものも頭にはない。階級が先陣を切つたと移民は出稼ぎだといふの下



が誤った考へを持つて  
 居る者が、在留地  
 に同化して在留地々是に治  
 る生活せんとする者を  
 「非国民」の一語で同胞  
 相排斥する。吾々の過  
 去の「史」が今日の監視  
 収容<sup>然</sup>産<sup>然</sup>新<sup>然</sup>分<sup>然</sup>と言  
 ふ結果となつてある  
 ドイツ人、イタリア人と  
 日本人との取扱ひ上の差



は  
い  
を  
に  
存  
在  
の  
そ  
の  
あ  
る。